



代表取締役社長兼CEO(最高経営責任者)

岩城 裕一

**病に苦しむ世界中の患者さんのために、
新薬を創り、届けること。
それがメディシノバの使命です。**

日本のすぐれた創薬技術をいかして、
安全で有効な新薬を世界へ届ける…
患者さんの笑顔をつくるのが、私達の仕事です

会社理念

十分な治療法がまだ確立していない疾病を患う
世界中の患者さんに、よりよい治療を提供することにより
社会に貢献すること

基本経営方針

理念を具現すべく、こうした疾病の問題を改善する
医薬品の導入、開発、販売を手がける
グローバルな製薬会社を目指すこと

MN-166(イブジラスト)、 いよいよALSフェーズ3臨床治験開始します。

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当期は、主要プログラムMN-166(イブジラスト)において大きな進展がありました。ALS(筋萎縮性側索硬化症)と進行型多発性硬化症の2つのプログラムでフェーズ3臨床治験目前まで駒を進めました。その一方で、新たな適応症としてグリオブラストーマ(神経膠芽腫)、DCM(変性性頸椎脊椎症)、化学療法誘発性末梢神経障害を追加し、チャレンジを始めました。

もう一つの主要プログラムMN-001は現在、希少難病のIPF(特発性肺線維症)や肝臓疾患のNASH(非アルコール性脂肪性肝炎)をターゲットとして治療薬開発を進めていますが、昨年から今年にかけてはアジア領域で新たな特許が承認されたこともあり、今後はMN-001の存在が大きくなると思います。

当社に大きな可能性を感じ、欧米豪諸国の著名大学や先端医療センターの医師・研究者から、共同研究、共同開発のオファーが絶えません。米国国立衛生研究所(NIH)などの公的機関から合計30億円にも上る多額のサポートを得ていることは、メディシノバの長所であると自負しております。

今後も、株主の皆様のご期待に応えられるよう社員一同、臨床開発、導出活動に邁進する所存でございます。株主の皆様には、今後ともなお一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成31年4月